

HOP!!!

野間中学校 第1学年
学年通信 第2号
平成29年4月13日発行

新年度当初に当たり

10日の月曜日、新学期早々、朝の読書が始まりました。担任が教室に行くと、時間が始まる前から本を出して、静かに読書が始まっていた。とにかくそのことに感動しました。また、学年集会では、静かに武道場に入場し、早く入っていたクラスの生徒たちは、他のクラスが入ってくるのを静かに待つことができました。それも感動に値することでした。当然のことながら、全校集会や朝・帰りのSTは言うべきにもあらずという感じで、まさに感動の連続でした。新学期が始まって、このように感動させられることばかりの1年生の担当を任されて、うれしいばかりです。



【静かに読書】

さて、始まってまだ3日、「学校に慣れた」とは言いがたいところだと思います。初めのうちは、様々な検査やテスト、学級活動で係や委員会の立ち上げ、学年・全校集会など学習が始まる前に疲れてしまいますよね。でも、もう少し我慢してください。本格的に学習が軌道に乗るまで、もう少し時間がかかります。焦らずに自分のペースで乗り切ってください。

ところで、先生のいう「当たり前のことを当たり前にする人になってほしい」の意味は分かってもらえましたか？例えば、「おはようございます」、「おやすみなさい」のようなあいさつ、道路の右側を歩くなどの交通規則……などなど。

当たり前と呼ばれることは身の回りにたくさんあります。普段何気なくやっていることです。でも、残念ながらうまくできない人がいるのも現状です。人の話を聞くことができない、あいさつや返事ができない、決められたルールを守ることができないなど、あまり見たくない光景を目にすることもあります。

先生からは、「空を飛べ」とか、「100mを1秒で走れ」とか、不可能なことは言いません。中学校生活は、次の社会生活への大切なステップですから、社会に出たときに困らない、最低ラインのことをできるようにする必要があります。そのためには「ルール」、「モラル」、「マナー」を身につけることが最低限必要になります。朝や帰りのあいさつをする、給食をきちんと食べる、チャイム前着席をする、授業をきちんと受ける、宿題は期限までに提出する、部活動や委員会、当番活動にまじめに取り組むことなどが当たり前ということです。

これら当たり前のことを当たり前にするようにして、さらによい学年にしていきたいと思っています。皆さん、当たり前を徹底していきましょう。

地震避難訓練

11日の5限には、地震津波避難訓練が行われました。

6年前の3月11日の東日本大震災や、昨年4月14日の熊本地方の大地震のような大きな地震が、この東海地方でも数年のうちにはかなりの確率で起こると言われています。それに備えての訓練でした。

まず、地震が起こったと想定しての教室での一次避難。放送に従って、机の下に素早く避難できました。その後、二次避難に体育館への避難、そして津波に備えての三次避難ということで、校舎の3階の部屋に各学年に分かれて避難をしました。

実際に、教室の授業のときに地震が襲ってくるとは限りません。放課で教室移動をしているときやトイレに入っているときなど、イレギュラーな場合かもしれません。生徒に話をしましたが、最終的に一番大切なものは「自分の命」です。そして、それを守ることでできるのは「自分」しかいません。その時々きちんと避難できるような心がけを、普段からしておく必要があります。

だからこそ「自分の命は自分で守る」という意識が必要です。ご家庭でも是非話題にさせていただき、いざというときの備えをしていただくと助かります。よろしくお願いします。



【それ、机の下に!!】

学校を探索!

12日には、学校めぐりといって、校内のいろいろな教室がどこにあるかを確認するという活動をしました。小学校とは違って校舎が2棟あり、それぞれにいろいろな教室が散らばっているため、移動教室も一苦労です。それを覚えるための学校めぐりということです。

また、それに合わせて学級写真を撮りました。みんないい顔をしています。ファインダー越しに顔を見るだけで、とても幸せな気持ちになりました。

【A組】



【B組】



【C組】

